

6361-76  
平成17年7月25日

各関係機関の長  
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成17年度病害虫発生予察注意報第6号について  
平成17年度病害虫発生予察注意報第6号を発表したので送付します。

## 平成17年度病害虫発生予察注意報第6号

平成17年7月25日  
宮 崎 県

- |      |           |
|------|-----------|
| 病害虫名 | カンキツかいよう病 |
| 作物名  | かんきつ      |
- 1 発生地域 県下全域
  - 2 発生時期 7月以降
  - 3 発生量 葉：多 果実：やや多
- 4 注意報の根拠
- 1) 昨年の台風の影響で比較的感受性の低い温州みかんにも、かいよう病の病葉が見られ伝染源が多い状況である。
  - 2) 7月中旬の巡回調査で発生面積率は50.0%（平年値15.9%）、発病葉率は4.7%（平年値1.0%）、発病度は0.96（平年値0.2）と、平年に比べ多い発生であった。
  - 3) 現在のところ、果実での発生はほとんど確認されていないが、今後、葉からの感染が予想される。
- 5 防除上の注意
- 1) 発病した葉や枝は伝染源となるのでなるべく除去し、園外に処分する。
  - 2) 防風樹・防風網を適正に管理し、風傷害の防止につとめる。
  - 3) 防除に当たっては、炭酸カルシウム水和剤（クレフノン）200倍を加用したコサイドボルドーやZボルドーなどの無機銅水和剤を散布する。
  - 4) ミカンハモグリガの被害も重要な病菌侵入口になるので、夏秋梢の発生の多いほ場では防除を徹底する。
  - 5) 台風襲来等に伴う枝葉の損傷は、発病蔓延の最も重要な要因となるので事前の薬剤散布を徹底する。
  - 6) 防除薬剤等その他の詳細については、病害虫防除・肥料検査センター、各農業改良普及センター等関係機関に照会すること。また、農薬使用基準を遵守し、危被害防止に努める。

《連絡先》  
病害虫防除・肥料検査センター  
松浦  
TEL：0985-73-6670  
Fax：0985-73-7499  
E-mail：byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp